



なめりかわ

市議会だより



No. **217**

令和7年2月1日発行

滑川市議会

☎ (076) 475-2120

E-mail: gikai@city.namerikawa.lg.jp

(タイトル：滑川高校1年 黒川 栞さんの作品)



11月27日に給水車の入魂式が行われました

令和6年12月定例会一覧

開会 開会 12月2日 12月16日		閉会 12月2日 12月16日		会期15日間	
○本会議（主な内容）		○委員会		○議案の審議結果	
2日 会期の決定		2・10・16日 議会運営委員会		予 算（原案可決）	
提案理由説明		11・16日 総務文教消防委員会		条 例（原案可決）	
補足説明		12・16日 産業厚生建設委員会		そ の 他（原案可決）	
9日 代表質問・一般質問				そ の 他（原案承認）	
10日 一般質問				人 事（原案同意）	
議案の委員会付託				議員提出（原案可決）	
16日 委員長報告・質疑・討論・採決				合 計	
追加提案				28件	
提案理由説明				1件	
補足説明・質疑・				1件	
議案の委員会付託				13件	
委員長報告・質疑・討論・採決				4件	
追加提案				8件	
提案理由説明・採決					
提案理由説明・採決					
閉会中の継続審査					

議会を傍聴しませんか。次回の定例会は3月です。



なめりかわ 市議会だより

◆令和6年12月定例会

○議長に竹原正人議員

○令和6年度一般会計補正予算（第4号）（5億9,804万1千円）

を含む市長提出議案27議案を可決または承認

○議員提出議案「ひきこもり支援体制の強化を求める意見書」を可決



竹原 正人 議長

新議長のあいさつ

このたび、議長職に当選させていただきました。

議員皆様の協力のもと、議会を円滑に運営し、市当局とは是々非々の議論の中で滑川市の発展に努めるとともに、防災・減災の取組や、さらなる子育て支援の充実、高齢者が安心して暮らせる環境の創出など、本市の行政課題に対して、少しでも改善できるよう取り組んでまいります。また、若い世代の方に議会への関心を持ってもらえるよう、議会改革を進めていきたいと思います。よろしく願います。

12月定例会

本会議

◇12月2日に本会議を開き、まず会期を決めた後に、尾崎議長から辞職願が提出されたため、議長の選挙を行い、選挙の結果、指名推選で竹原議員が議長に選出されました。新議長の選出に伴い、産業厚生建設委員長長の選任、広報広聴委員会の委員の委嘱、富山地区広域圏事務組合議会議員・滑川中新川地区広域情報事務組合議会議員・富山県東部消防組合議会議員の補欠選挙を行いました。

引き続き、予算及び条例等の市長提出議案及び報告23件が一括上程され、提案理由の説明がありました。

一旦、本会議を閉じ、全体委員会を開いて担当課長などから議案の補足説明がありました。

◇9日、10日は代表質問及び一般質問が行われ、11名の議員が市政一般に対する質問及び提出案件に対する質疑を行った後、市長提出議案を所管の各委員会へ付託しました。

◇最終日の16日には本会議を開き、

総務文教消防・産業厚生建設の各常任委員長から、それぞれの付託議案の審査結果の報告がありました。

議案は一括して採決され、各常任委員長の報告のとおり賛成全員で可決または承認されました。

続いて、市長より追加提案された4議案について提案理由の説明があり、一旦、本会議を閉じ、全体委員会を開いて担当課長などから議案の補足説明が行われた後、所管の各常任委員会へ付託しました。

その後、総務文教消防・産業厚生建設の各常任委員長から、それぞれの付託議案の審査結果の報告があり、議案は一括して採決され、各常任委員長の報告のとおり賛成全員で可決されました。

続いて、市長から人事案件として、滑川市公平委員会の委員に高橋眞琴さん（柳原）の選任が追加提案され、同意しました。

次に、議員提出議案第5号の提案理由説明の後、採決を行い、「ひきこもり支援体制の強化を求める意見書」を賛成全員で可決しました。最後に閉会中の継続審査を議決して、12月定例会を閉会しました。

常任委員会での審査 (主な質疑等) 各常任委員会への付託 案件はP14をご覧ください。

■総務文教消防委員会

付託された11議案は慎重審査の結果、賛成全員で原案のとおり可決または承認すべきものと決定いたしました。

☆令和6年度滑川市一般会計補正予算(第4号)について

問 小中学校での1人1台の端末の更新について、現在使用しているマイクrosoftオフィスは使えなくなるのか。また、新一年生は初めて使うタブレットを、更新後にまた学ばないといけないのか。

答 アカウントを引き継いで、ウェアプアプリ版のチームズ・パワーポイント・エクセル・ワードは使えるようになる。新一年生のことを想定し、教員用をなるべく早く導入して児童生徒に指導できるようにしたいと考えている。

☆滑川市体育施設条例の一部を改正する条例の制定について

問 滑川市千鳥スキー場について、これまで以上に幅広い使われ方を期待するのであれば安全管理に手抜きがないようにするべきだが、残土や設備はどうするのか。

答 残土は整地しており、設備は従前どおり維持管理していく。安全管理については徹底していきたい。



滑川市千鳥スキー場

■産業厚生建設委員会

付託された17議案については、慎重審査の結果、賛成全員で原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

☆令和6年度滑川市一般会計補正予算(第4号)について

問 滑川市工場等ライフライン整備支援補助金について、補助金要綱を廃止したとのことだが、工場建設を考えている企業に対し、何らかの助成は必要ではないか。

答 (水野市長) このライフラインに対してという助成内容に限らず、今後、工場建設について企業から相談があれば、その都度考えていきたい。

☆滑川市農村研修センターの指定管理者の指定について

問 農村研修センターについて、廃止した後、研修センター内に設置されているホタルイカの急速冷凍機はどうなるのか。また、現在施設を利用されている方への対応は考えているのか。

答 ホタルイカの急速冷凍機については、関係者で構成する急速冷凍ホ

タルイカブランド確立協議会のなかで移設先を検討中である。現在施設を利用されているひかり味噌加工組合とは、現在移転先を協議しているところである。



農村研修センター



急速冷凍機

代表・一般質問での質疑応答における当局とのやりとりのうち、どの部分を掲載するかについては、各質問者が選んでいます。

日誌

6年11月

1日 議会報告・意見交換会

6～7日 産業厚生建設委員会

行政視察

(新潟県弥彦村・津南町)

8日 総務文教消防委員会協議会

定例議員協議会

12～13日 総務文教消防委員会

行政視察

(静岡県熱海市・沼津市)

18日 三市議会議員研修交流会

(黒部市)

19～20日 富山地区広域圏事務組合

行政視察

(京都市・滋賀県草津市)

25日 議会運営委員会

27日 定例議員協議会

29日 富山県東部消防組合議会

臨時会(魚津市)

12月

2～16日 12月定例会

16日 議会報編集委員会

25日 議会運営委員会

産業厚生建設委員会協議会

7年1月

10日 全員協議会

第1回臨時会

定例議員協議会

議会報編集委員会

広報広聴委員会

17日 議会報編集委員会

22日 富山県市議会議長会

議員研修会(富山市)

代表質問

12月定例会では11名の議員が質問を行い、41項目について市当局の見解を求めました。

質問と答弁の主な内容は次のとおりです。

(すべての質問等詳細を記録した会議録は、3月中旬頃までに、市立図書館に配付する予定ですのでご利用ください。また、滑川市ホームページの市政情報には、議会会議録検索システムが搭載されておりますので、ご利用ください。)
※質問者の最後のその他の質問は、掲載外の質問事項です。

代表質問



- 1 漁港及び周辺の施設などの活性化について
- 2 農業振興について
- 3 ゲートボール場条例廃止について
- 4 児童生徒のタブレット更新について

(会派) 志真会 安達真隆 議員



Q 滑川蒲鉾跡地で、漁師の方々と滑川市が共同で鮮魚の販売イベントなどはできないか。

A 水野市長 これまでに開催された地域水産業再生委員会や漁業者等との懇談会において、水産業の振興について意見交換を行っており、漁業者側からは、旧滑川蒲鉾を活用して滑川漁港で水揚げされた水産物の直売イベントを開催したいという意見もある。開催時期や内容が決定した際には、PR等について協力したい。

Q 若手が参入しやすい農業にできないか。また、既存農業者に手厚い支援は考えられないか。

A 水野市長 若手の参入はもちろんのこと、農作業の効率化、省力化を進めていかなければならないと考えている。農業経営における負担が大きいのは農業機械や設備に要する経費であり、より有利な国や県の補助制度の情報を農業者へ積極的に提供したい。異常気象やエネルギー・農業用資材の高騰等、依然として農業は厳しい状況に置かれていることから、農業者の声をよく聞きながら、県やJAアルプス等の関係機関と連携し適

宜支援を考えていきたい。

Q ゲートボール場の用途を広げ、多くの方が使える施設に変更できないか。

A 石川健康福祉部長 市民から用途拡大の要望もあることから、多目的な活用ができないか検討してきた。ペタンク、テニス、フットサル、トレーニング、ドッグランなど様々な案があったが、使用器具による照明の破損や屋内ゲートボール場にゲートが埋め込んであり、安全面での懸念があり実現に至らなかった。用途廃止後の敷地、建物の活用については、様々な意見を聞きながら検討したい。

Q タブレット端末の納入から利用までの具体的なスケジュールは、

A 上田教育委員会事務局 新たなタブレット端末の導入については、県主体の共同調達によって導入することとしており、令和7年7月末と9月末の2回に分けて約半分ずつ納入される予定である。アカウントの初期設定や、現在使用しているソフトの設定の必要があるため、各学校と協議して、授業に支障が出ないように考慮した上で進めていく予定である。

代表質問



4 3 2 1

令和7年度予算編成について
住みよい滑川を目指して
新型コロナウイルス感染症ワクチン接種について
学校教育について
(会派「会派自民」) 岩城 晶巳 議員



Q 新年度予算編成で現時点での最重要事業は何か。

A 水野市長 新規重点枠を3枠設けている。1つ目が、多様な人がチャレンジし、共創・イノベーションを起こしていく笑顔いっぱい枠、2つ目が、市民が健康に暮らし、新しいつながりを広げていく幸せいっぱい枠、3つ目が、次世代に向け、人材を育成し、魅力を継承していく光り輝く枠、この3つの新規重点枠を設定して予算編成作業を進めている。

Q 所得税が課せられる年収の最低ラインを103万円から178万円へ引き上げられた場合、滑川市はどの程度の減収になるのか。

A 水野市長 個人住民税は概算で約6億円の減収と見込んでおり、財政に与える影響は大きい。

Q 災害関連死の認定審査会を設置したほうがよいと思うが、当局の考えを伺う。

A 石川健康福祉部長 認定審査会の設置は市町村の努力義務とされているが、近年、自然災害が多発していることから必要であると考えており、今年度中に設置に向けた条例を制定したい。

Q ワクチン接種の後遺症について、予防接種法上、健康被害救済に関する申請期限は設けられておらず、ワクチン接種後6、7年目になっても申請できる。自治体の書類は原則5年で廃棄と聞けるが、5年以降に後遺症が出て申請する場合はどうするのか。

A 石川健康福祉部長 予防接種に関する情報については、保存期間を超えて保存すべき情報であり、データ化した上で、保存期間を設けることなく保存していきたい。

Q 市内の学校に設置されている太陽光発電について、稼働していないものはどうするのか。災害対応や、電気が来なくなった際に大事ではないかと思うがどうか。

A 上田教育長 費用等を考慮した上で必要な修繕の実施を検討する。装置全体の老朽化が進んでいるため、修繕では対応不可能のものについては、費用対効果を含め再設置をするか検討したい。

その他の質問
・ 地鉄再構築問題について
・ 市民ホール建設について

一般質問



3 2 1

SDGs未来都市について
職員の姉妹都市交流について
個別避難計画の作成について
高川 正樹 議員



Q SDGs未来都市に選定され、市民一人一人が少しでも行動できるよう、さらなる周知が必要では。

A 石川総務部長 市広報等での情報発信や職員のSDGsバッジの着用等により、まずは視覚的な啓発から始めてきた。10月に本庁舎入り口とストックヤードにインクカートリッジの回収ボックスを設置した。今後、市役所玄関前に賞味期限の近い飲料を定価より安く販売する自動販売機を設置するなど、様々な取組を通じ推進や周知に努める。

Q 食品ロスについて、どのような対策を行っているか。

A 黒川産業民生部長 ホームページ等での啓発や、家庭で使いきれない食材を持ち寄って料理をつくるサルベージ・パーティーの開催、クックパッドにおいて滑川市の公式のキッチンを開設し、野菜を皮ごと使ったり、魚を丸ごと食べられるエコレシピを掲載している。

Q 長野県小諸市と職員同士の交流が行われたが、その実績と参加した職員の反応はどうだったか。

A 石川総務部長 8月に滑川市で、10月に小諸市で職員交流会を実施した。両市の総務部の職員13名ずつが参加し、各市のまちづくりや人口減少対策の取組について意見交換を行ったほか、小諸市の推進するコンパクトシティやまちづくり事業について理解を深めた。実際に小諸市を訪れたことで、参加した職員は刺激を受け、本市の取組についてより具体的に考える機会となった。

Q 個別避難計画の作成はどのように進めてきたか。

A 石川健康福祉部長 令和5年度にモデルケースとして西加積地区で作成を行い、令和6年度より市内全地区へと展開してきた。令和6年度の対象者は要介護3、4、5の認定を受けている方や障害者手帳1級、2級を所持している方々のうち、ハザードマップで被災が想定されている区域に居住している方とし、個別避難計画の作成を希望された方について作成をしている。市内の居宅介護支援事業所等の協力を得て、基本情報の収集、並行して各自治会連合会へ個別避難計画に関する説明会を開催し、作成の協力を呼びかけてきたところである。

一般質問



1 防災対策、とりわけトイレ対策について
2 生活保護について

古沢利之 議員



Q NPO法人日本トイレ研究所が、地方自治体に対して災害時のトイレの課題についてアンケート調査をしたが、本市では災害時トイレ対策の統括責任者は決まっているのか。

A 石川総務部長 災害時のトイレ対策は、市の防災計画で産業民生部と定めている。

Q 災害時のトイレの確保、管理計画は具体的に作成されているか。

A 石川総務部長 個別の計画は策定していないが、仮設トイレの確保、設置等は市の防災計画で規定している。特に数の積算的なものは定めていない。

Q 数として具体化しないと進捗の検証ができないのではないか。

A 石川総務部長 備蓄品は国が強力に進めるとの話もあるので、今後の対策、確保等に努めたい。

Q 避難所設備等の国際基準にスフィア基準があり、トイレは災害発生時では50人に一つ、中期には20人に一つ、女性用は男性の3倍を求めている。他の自治体との連携協力体制も含めて、体制を整えることが必要ではないか。

A 石川総務部長 市の個別準備を進めるほかに、今回のような大規模災害では、横の連携、姉妹都市の連携等も有効になると思う。検討していきたい。

Q 9月議会では生活保護に関するホームページと生活保護のしおりの表現について質問した。一部の表記が変わったが、まだまだ改善の余地があると感じる。法律の条文の引用でなく、住民が見て分かりやすいものにするべきでないか。

A 石川健康福祉部長 修正後の表記でもわかりづらいことから、再度見直すこととしている。

Q 「生活保護のしおり」そのものはホームページにアップされていない。公開する予定はないか。

A 石川健康福祉部長 生活保護のしおりは誰が読んでも分かりやすいことが重要であり、他の自治体を参考に見直すことにしている。ホームページにしおりがリンクされていないので修正したい。

Q いつ頃を目途にするか。

A 石川健康福祉部長 今年度中に修正したいと考えている。

その他の質問

・現行保険証の新規発行停止について

・水道水の有機フッ素化合物(PFAS)問題について

一般質問



1 公民連携と旧市街地の活性化について
2 新しい「食」について
3 議会報告会の意見について

青山幸生 議員



Q 今年度当初予算の官民連携・実証促進事業費2050万円の進捗はどうか。

A 柿沢副市長 これまでに空き家・空き店舗等の不動産オーナー調査、水路・路地等の公共施設の構造点検を実施した。これらの結果を踏まえ、活用可能な遊休不動産を約20件特定し、その活用案について検討をしている。人材育成については、都市経営プロフェッショナルスクール北陸富山キャンパスに職員を1名派遣している。空き家・空き店舗のリノベーションに活用していくための制度づくりとして空き家の高気密・高断熱化の導入に向けた支援制度の設計を検討しているところである。

Q 官民連携・実証促進事業の意義と将来ビジョンを伺う。

A 柿沢副市長 旧町部エリアに主導の公民連携により、空き家という負の遺産、地域課題をプラスに転換し、新しいまちづくりに取り組むという意義がある。また、将来ビジョンは令和時代における新しい昭和レトロなまちづくりをコンセプトとして、再生することを目指していきたい。

Q 学校給食利用補助金及びふるさと米づくり体験事業は今後、市の取組として発展させていくべきだと考えるが、予算の増額は考えていないか。

A 上田教育長 学校給食利用補助金は有機栽培米、自然栽培米の生産規模を考慮した予算を今まで確保しているところである。予算については、いろいろなやり方があると思うっており、現在作戦会議をしている。一生懸命検討したい。

Q 柳原新町交差点の信号について、富山側と魚津側のどちらに向かうにも青信号が短い。県警に変更を求めているがどうだろうか。

A 黒川産業民生部長 現場を確認したところ、当該信号機は歩車分離式の交差点であり、市道滑川中央線側の青信号より市道菰原辰野線側の青信号の時間が短い設定になっていた。また、朝夕交通量の多い時間帯では、富山側と魚津側どちらに向かう場合でも右折車が複数台いる場合、その後ろにいる車が進めない状況も確認したところである。現場の状況及び市民からこのような意見があったことを滑川警察署に伝えたい。

一般質問



2 1

防災について
HPVワクチン接種について

吉森 真人 議員



Q 災害時の移動は原則徒歩となっているが、周知徹底できているのか。また、市として原則徒歩に對してどう考えているのか。

A 石川総務部長 能登半島地震の際は、想定外の避難行動による混乱が生じ、避難車両による渋滞が頻発するなどの課題が生じた。市として県の議論の動向を見極めながら、二次災害が発生しないよう、原則徒歩の周知に努めたい。

Q 環境や時代の流れ、プライバシーの観点から車中泊をする方が多いと想像できるが、市として車中泊避難をどう想定しているのか。また、その対策は考えているのか。

A 石川総務部長 能登半島地震の際は、ベットの世話やプライバシーの確保などの事情から、車中泊避難を選択された方が一定数存在した。今後プライバシー空間を求められる避難者も多くなってくる

Q 滑川市に到達する津波は、線

路はもちろん市道滑川富山線（ふれあい通り）を超えないと想定されているが、今回の能登半島地震の結果を踏まえ修正点はないのか。

A 石川総務部長 現在想定されている津波は、富山県が平成29年2月に公表した調査結果に基づいて想定されている。現在、県の防災会議地震対策部会等において地震の被害想定調査及び津波シミュレーション調査を進めていくとされている。調査完了までに2年ほどかかることとされ、令和7年度中には中間報告がなされる。この報告を踏まえて見直しも含め検討したい。

Q 前定例会でも伺ったが、HPVワクチンについて、男性に對しての有効性の周知と、男性の定期接種もしくは接種に對しての助成を行うべきと考えるがいかがか。

A 石川健康福祉部長 HPVの主

な感染経路が性的接触であること

一般質問



4 3 2 1

台湾との交流について
公民連携事業について
防災について
教育について

水橋 真治 議員



Q 市長は、台湾をどのように位置づけ、本市との関係の重要性をどのように捉えているか。

A 水野市長 台湾との交流につ

ては、台湾美食展への出展、市内小中学校の独自交流も行っている。台湾向け繁体字対応の観光パンフレットの作成も行ってきた。様々な形態で交流していくことは、お互いの地域の発展と文化的な交流を深めることとなり、大変重要なことであると考えている。台湾のみならず、ご縁がある国内外の自治体であれば、交流を深めた上、必要に応じて交流の覚書や友好都市の提携等について検討していきたいと考えている。

Q 公民連携事業の旧町部エリアまちづくり構想の重点は何か。

A 柿沢副市長 ランドスケープと

将来ビジョンをどう描けるかというところが大事になると考える。昔ながらの街並みや水路・路地などの公共施設が調和した令和時代における新しい昭和レトロなまちづくりとして再生することであり、そのためのランドスケープを描き、取組を進めることが大事であると考えている。

Q 本市河川の増水による災害対策はどのように行われているか。

A 岩城建設部長 県では、沖田川放水路事業、中川、中川放水路の水草の除去、郷川の本江地内など

でしゅんせつを行っている。市では伝五郎川、田中川のしゅんせつを進めており、今後も定期的なパトリールを行うとともに、河川の適正な維持管理に努めていきたい。

Q 情報倫理、情報モラル、情報セキュリティ教育は、どのように行われているか。

A 上田教育長 情報モラル教育指導カリキュラムが各学校の教育指導計画に位置づけられ、情報発信

による他人や社会への影響、健康を害するような行動など5つのことについて考える学習活動を学年に応じて行うこととしている。

Q 市内小中学校で体育の授業や部活動の猛暑対策として、体育館に空調設備を設置してはどうか。

A 上田教育委員会事務局長 空調設

備を設置することの重要性は認識している。体育館への空調設備の設置については、県内他市町村の先行事例などを参考に、今後検討していきたい。

一般質問



- 1 サテライトオフィス誘致事業について
- 2 子育て支援について
- 3 ごみ問題について

谷崎潤 一議員



Q サテライトオフィス誘致事業は2年経過し、実績としては十二分だと思うが、類似点がある創業支援事業に集約できないか。

A 黒川産業民生部長 サテライト

オフィスを誘致する事業は、新規事業の創出、地域の雇用機会の拡大、地域経済の活性化、空き家問題の解消を図ることを目的として昨年度より実施している事業である。進出企業には、整備費に最大400万円、取得費に最大200万円、賃借料に最大120万円のほか、視察にかかる宿泊費、旅費の補助金を交付するものである。一方、創業支援事業は、創業機運を醸成し、市内で創業を促すことを目的として、対象業種、対象地域で創業する場合、土地建物の取得費または賃借料、改装費に最大100万円、加算措置を適用した場合は最大150万円の補助金を交付する。サテライトオフィス誘致事業と創業支援事業は事業の目的が異なることから集約はできない。

Q 公立保育所について、市は看護師、保育士の増員と環境改善を検討しているのか。

A 上田教育委員会事務局長 公立保

育所において職員の配置基準は満たしているが、現在の人員配置が

十分と言えないことは承知しており、看護師や保育士の募集をしても充足できない状況である。環境改善については、今年度より各園に1名の事務員を配置したほか、保育記録のデジタル化や保護者との連絡手段のオンライン化を進めている。今後も現場の課題解決に向けて引き続き努めていきたい。

Q 河川や海岸線のごみの漂着物などの問題を、市として今後どのように解決、啓発していくのか。

A 黒川産業民生部長 市の不法投

棄防止パトロール員が海岸や河川敷などを定期的に巡回し、ごみを発見した際にはその都度回収し、人力での回収が困難な漂着物は、海岸管理者等へ情報提供し、撤去依頼などの対応を行っている。ごみの不法投棄を未然に防止するための意識向上が必要と考えており、引き続き市の広報、ホームページ、Net3などあらゆる媒体を活用し、ごみの不法投棄が無くなるよう周知啓発を行っていく。

その他の質問
・職員採用について

・滑川市内小中学校における熱中症対策について

一般質問



- 1 慶応大学生の意見について
- 2 東福寺野自然公園について
- 3 子育て支援について

開田晃江 議員



Q 慶応大学生がゼミの一環で滑川市を訪問されたが、各拠点について、どのような印象をもたれたのか。今後、市はどのような点を取り入れていくのか。

A 水野市長 東福寺野自然公園で

は、成長した高い樹木や鉄塔がせつかくの眺望を遮っており、景観の保護を行うため、統一したコンセプトやルールづくりを行ってはどうか。また、深刻な労働力不足を解決するため、講演会を通じて、スマート農業の認知度の向上と手厚い支援を行ってはどうか、などの提案があった。

直ちに取り組んでいくことができる案件もあったので、新年度予算への反映も含めて参考にしたい。

Q 市は東福寺野自然公園をどのように活用して市民の皆さんに何を提供するのか、どのように考えてリニューアルするのか。

A 柿沢副市長 今月、特に市役所

の若手職員を中心としたワークショップを行う。このほかに、市内外の関係企業等からの聞き取りも実施していきたい。

Q 具体的な事業の検討はどのような形で進めるのか。

A 柿沢副市長 これからの取組として、公園整備の実績があるコンサルタント企業や整備運営会社などに、訪問等のアプローチもしながら進めていきたい。

Q 市長提案理由に「日々、保育環境を整えながら子ども主体の保育に取り組んでいる」とあるが、今後、市内全域の幼児教育施設に浸透させる考えはあるか。

A 上田教育長 幼児期の教育は、

生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものと位置づけられており、国の指針では一人一人の資質や能力を育んでいくというねらいも示されている。保育所、認定こども園、幼稚園の垣根を越えて就学前の幼児教育・保育について研修の機会を設けることに、前向きに検討していきたい。

Q 保育士不足に対応するため滑川市保育士バンクは設立できないか。

A 上田教育委員会事務局長 ホーム

ページやSNSを通じて保育士資格のある方の登録を呼びかけるなど、人材バンクの設置を前向きに検討したい。

その他の質問
・常設資源物ステーションについて

一般質問



- 1 農業の振興について
- 2 ほたるいかミュージアムの整備について
- 3 なめりかわランタンまつりについて

原 明 議員



Q 深層水トマトが栽培されてから10年経つが、栽培量と販売状況はどのように変化しているか。

A 黒川産業民生部長 深層水トマトは、農事組合法人営農笠木で栽培されており、ハウス2棟でそれぞれ2期作で栽培されている。収穫量は、昨年度は年間約2・5トンで、今年度も昨年並みの収穫量を見込んでいる。販路としては、ハウス前での軒先販売のほか、市内外のスーパーや道の駅等で販売しており、学校給食へ提供したり、ふるさと納税の返礼品として全国へ発送をしている。

Q 滑川産農産物のブランド化に向けた取組について伺う。

A 黒川産業民生部長 深層水トマトに限らず、イチジクやリンゴのジャム、深層水と地元大豆を使ったみそ、地元産のそば、また、最近イチゴの観光農園等に取り組み経営体や個人もあり、それぞれの皆さんの声を聞きながら、滑川市産の農産物の知名度をもっと向上させるとともに、ブランド化も含め、意欲のある農業者への支援ができないかが今後の課題である。

Q ほたるいかミュージアム内に

エレベーターの設置を望む観光客や、光彩を利用する方の声がある。エレベーターの設置をどのように考えているのか伺う。

A 水野市長 平成10年にオープンしてから25年が経過しており、30周年に向けた大規模改修も必要となってくる時期に、設置場所や必要台数も考えながら検討したい。

Q 「べトナム・ランタンまつり in なめりかわ」は、今年で15回目となるが、市は、まつりの意義や開催についてどのように考えているのか。

A 柿沢副市長 本年のまつりでは約1万人の来場者が訪れるなど、滑川市の夏のイベントとしてランタンまつりは定着している。市としては、今後も継続して開催していただきたいと考えている。

Q ランタンまつりを企画運営する実行委員会に、市も構成委員として、まつりに参画すべきと思うが、見解を伺う。

A 柿沢副市長 ランタンまつりは、県内においても滑川で実施されていることが広く認知されている。市が実行委員会に入ることについて、前向きに検討していきたい。

一般質問



- 1 認知症の人に寄り添った地域社会の構築について
- 2 学校施設について
- 3 軟骨伝導イヤホンについて

尾崎 照雄 議員



Q 認知症の人の尊厳ある暮らしを守るケア技法であるユマニチュードの普及に積極的に取り組むべきと考えるが、見解を伺う。

A 石川健康福祉部長 市では、認知症サポーター養成講座において、認知症の人の尊厳を守ることを基本として、望ましい対応方法について普及啓発を行っている。改めてユマニチュードの概念を支援者に伝えながら、地域住民への浸透も目指していきたい。

Q 認知症基本法では、認知症に関する市町村計画の策定が努力義務化されている。滑川市では、介護保険事業計画の認知症に関する施策を見直していくのか。

A 石川健康福祉部長 市町村は基本計画及び都道府県認知症施策推進計画を基本とし、市町村地域福祉計画等と調和を図った市町村認知症施策推進計画の策定が努力義務化されたところである。今後、県の策定状況を踏まえながら、既存の計画との一体的な策定も考慮し、検討していきたい。

Q 文部科学省の空調設備整備臨時特例交付金を活用して公立学校体育館におけるエアコン設置に向け

たアクションを開始してはどうか。

A 上田教育委員会事務局長 学校体育館への空調設備の設置については、断熱性を確保する方法なども含めて、県内市町村の先行事例などを参考に今後検討したい。

Q 全国的な動きで、小中学校のプールの廃止が広がっている。今後の学校のプールの在り方を検討する時期がきているのではないかと懸念しているが、プールの修繕等、維持管理に努めているが、激しい経年劣化などにより、プールの大規模改修が必要となることも想定されている。複数校合同でのプール利用、民間のプール利用なども含め、検討したい。

A 上田教育委員 計画的にプールの修繕等、維持管理に努めているが、激しい経年劣化などにより、プールの修繕等、維持管理に努めているが、激しい経年劣化などにより、プールの大規模改修が必要となることも想定されている。複数校合同でのプール利用、民間のプール利用なども含め、検討したい。

Q 第三の聴覚である軟骨伝導が2004年に発見され、この原理を応用した軟骨伝導イヤホンが2022年に発売されたが、どう考えるか。

A 石川健康福祉部長 円滑な意思疎通を図るコミュニケーション支援機器については、軟骨伝導イヤホンを含め、他自治体で導入しているケースや様々な機器の機能や費用などを総合的に比較して、設置の有無も含めて検討したい。

産業厚生建設委員会行政視察（11月6、7日）

新潟県弥彦村・津南町

稲作の割合が高い富山県の農家の所得を向上させるためにはどのような取組が有効なのか、高収益作物の栽培で実績をあげている先進地から学んできた。

◆新潟県弥彦村

「弥彦村産枝豆について」

村役場で担当者から、弥彦村産農作物のブランド化、特産物である枝豆について説明を受けた。

弥彦村産農産物のブランド化は他の市町村よりも早く、平成28年より減農薬で生産された「伊彌彦米」をスタートとして、最近では地元・弥彦産の丸大豆と小麦のみを使用した「伊彌彦醤油」が好評を博すなど、様々な分野で取組が進められている。また、令和3年より、高収益作物である枝豆のブランド化に着手した。



＜弥彦村枝豆共同選果場＞

また、弥彦村での枝豆栽培は、平成30年に生誕50周年を迎えた極早生品種「極早生大爽（ブランド名：弥彦むすめ）」から茶豆、肴豆まで、幅広い品種の作付けと出荷の運動により、5月から10月上旬まで出荷が可能となっている。

枝豆の品質は市場からの評価も高く、今後は、県外への出荷についても積極的に考えていきたいとのことであった。

地域の担い手育成についても積極的に取り組んでおり、枝豆農家を含めた村外からの独立新規就農者は令和2年から4名、現在研修中の方が1名いて、その他の新規就農者も含め、全員離農せずに現在も耕作されているとのことであった。

地域の農業の維持、担い手育成という点でかなりの成果をあげている印象であった。

その後、村が設置し、JA新潟かがやきが運営を担う形で令和4年に建設された弥彦村枝豆共同選果場の現地を視察した。

◆新潟県津南町

『高品質なユリ』

「雪美人」について

町役場で担当者から、特産物であるユリ栽培について説明を受けた。

町の特色である河岸段丘の地形を利用して、カサブランカを中心に年間120万本のユリが栽培され、独自の厳しい規格基準をクリアした高品質なユリを、「雪美人」としてブランド展開している。

高品質なユリ栽培のノウハウの維持、また地元農協との密接な連携、

そこに行政もトップセールス等で協力することで良い関係が生まれている。

また、ユリを栽培している農家は全て専業農家で、そのほとんどは2代目で、経営は安定しており、特段担い手不足の問題はないとのことであった。

その後、実際のユリ農家のハウス栽培について現地を視察した。



＜ユリ農家のハウス内＞

総務文教消防委員会行政視察（11月12～13日）

静岡県熱海市・沼津市

全国的に問題になっており、滑川市でも喫緊の課題である空き地空き家問題の解決策として注目されている「リノベーションまちづくり」について、全国でも有数の成功例とされている先進地から学んできた。

◆静岡県熱海市

「官民連携による取組 リノベーションまちづく りについて」

市役所で担当者から、熱海市のリノベーションまちづくりについて説明を受けた。

昭和初期から主要産業である観光産業で栄えてきた熱海市は、バブル崩壊を境に観光客が減少し続けるなど衰退し、中心市街地には多くの空き物件がある状況であった。

その中で、民間の有志により、遊休化した物件を持つ不動産オーナー

と、まちで何かを始めたいまち起業家や、コミュニティのあるまちなかで暮らしたい住み手をつなぐことで、まちなかを暮らしやすく、チャレンジしやすい場に変えることを目的として、「熱海リノベーションまちづくり」がスタートした。

その後、行政も様々な形でサポートを行ったこともあり、観光客は増加し、熱海の軌跡と言われるV字回復という成果をあげている。

熱海市リノベーションまちづくりの特徴は、100%民間主導であるという点であり、担当者によると、「まちづくりに関して、役所の仕事は、民間の意欲あるプレイヤーの邪魔をしないこと」が重要であり、それが熱海での成功事例に繋がったと考えているとのことであった。



＜熱海市議会での研修＞

◆静岡県沼津市

「公民連携の推進 リノベーションまちづく りについて」

市役所で担当者から、沼津市のリノベーションまちづくりについて説明を受けた。

まちに増える遊休不動産を再生し、新しい使い方、新しい空間体験を生み出すという個別の取組を一定エリアに集中的に、面的に展開して、雇用の創出・コミュニティの再生・エリアの価値向上・地価の向上などに結びつけるものである。

沼津市では、他の自治体に先駆け



＜沼津市のリノベーションされた店舗＞

て「沼津市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略」の中でも中心的な役割を担う事業として位置づけ、取組を進めてきており、成果をあげている。

従前の建て替えなどと比べて初期投資を抑制できることや事業のスピードが圧倒的に早いなどの特徴があるとのことであった。

その後、実際にリノベーションされた店舗を現地で視察した。

議会報告・意見交換会
を開催しました

令和6年11月1日（金）、滑川市役所東別館3階大会議室で、令和6年度議会報告・意見交換会を開催し、約10人の皆さんにご参加いただきました。

報告会では議長のあいさつに続き、議員の自己紹介、議会運営委員会及び各常任委員会から所管などの説明、事業の紹介をしました。

その後、質疑応答、意見交換に移り、参加者からは積極的な質問や意見、要望をいただきました。



＜議会報告・意見交換会の様子＞

三市議会議員研修交流
会が行われました

令和6年11月18日（月）、黒部市で、黒部市・魚津市・滑川市の三市議会議員研修交流会が行われました。

まず、株式会社ジェック経営コンサルタント代表取締役社長の山瀬孝氏の講演「新川地域の発展のためにIJECの取り組みから」を聞いた後、道の駅KOKOくろべの現地視察を行いました。

その後の懇談会では、武隈黒部市長を来賓に迎え、活発な意見交換を行い、交流を深めました。



＜道の駅KOKOくろべ現地視察＞

3月定例会が下記の日程で開催されます

日	時間	摘 要
2月28日（金）	10時	会期の決定、提案理由説明、補足説明
3月3日（月）	10時	補足説明
10日（月）	10時	代表、一般質問
11日（火）	10時	一般質問
12日（水）	10時	予算特別委員会
13日（木）	13時30分	予算特別委員会
14日（金）	10時	予算特別委員会
17日（月）	10時	総務文教消防委員会
18日（火）	13時30分	産業厚生建設委員会
21日（金）	11時	委員長報告、質疑、討論、採決

12月定例会は全員賛成だったため、賛否一覧表は掲載しません。

意見書提出要請・要望書

件名及び提出者

処理結果

①意見書提出要請(1件)

- ・ ひきこもり基本法制定に関する意見書採択のお願い …………… 議会運営委員会一致
高和 正純 (議員提出議案第5号へ)

②要望書(7件)

- | | | |
|---|--|----------|
| 1 | 令和7年度 理科教育設備整備費等補助金予算計上についてのお願い
..... | 全議員へ参考配付 |
| | 公益社団法人 日本理科教育振興協会 会長 大久保 昇 | |
| 2 | 公共施設等における木材の利用促進について | 全議員へ参考配付 |
| | 富山県木材組合連合会 会長 米澤 政幸 | |
| | 富山県森林組合連合会 代表理事会長 須沼 英俊 | |
| | 富山県素材生産組合 理事長 中川 一郎 | |
| | 富山県森林・木材研究所振興協議会 会長 岸田 毅 | |
| 3 | 学校教材備品の計画的な整備推進についてのお願い | 全議員へ参考配付 |
| | 一般社団法人 日本教材備品協会 会長 大久保 昇 | |
| 4 | 臓器移植に関わる不正取引、非人道性が疑われる国への渡航移植等を防止するための
法整備等を求める意見書提出の陳情 | 全議員へ参考配付 |
| | 一般社団法人 中国における臓器移植を考える会 代表 丸山 治章 | |
| 5 | 要望書 | 全議員へ参考配付 |
| | 富山県環境保全協同組合 理事長 廣瀬 淳 | |
| | 株式会社公生社 代表取締役 廣瀬 淳 | |
| 6 | 要望書 | 全議員へ参考配付 |
| | 一般社団法人日本環境保全協会 会長 山条 忠文 | |
| | 富山県環境保全協同組合 理事長 廣瀬 淳 | |
| 7 | 令和7年度滑川市行政施策に対する要望について | 全議員へ参考配付 |
| | 滑川商工会議所 会頭 星名 照彦 | |

議案の審議結果

議案番号	議案内容等	委員会	採決結果
議案第77号	令和6年度滑川市一般会計補正予算(第4号)	総産	原案可決
議案第78号	令和6年度滑川市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	産	原案可決
議案第79号	令和6年度滑川市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	産	原案可決
議案第80号	令和6年度滑川市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	産	原案可決
議案第81号	令和6年度滑川市下水道事業会計補正予算(第1号)	産	原案可決
議案第82号	滑川市シルバーワークプラザ条例の一部を改正する条例の制定について	産	原案可決
議案第83号	滑川市体育施設条例の一部を改正する条例の制定について	総	原案可決
議案第84号	滑川市ゲートボール場条例を廃止する条例の制定について	産	原案可決
議案第85号	地方自治法第179条による専決処分の承認を求めることについて 専決第6号 令和6年度滑川市一般会計補正予算(第3号)	総	原案承認
議案第86号	滑川市民会館の指定管理者の指定について	総	原案可決
議案第87号	滑川市民交流プラザの指定管理者の指定について	総	原案可決
議案第88号	滑川市営駐車場の指定管理者の指定について	総	原案可決
議案第89号	滑川市自転車駐車場の指定管理者の指定について	総	原案可決
議案第90号	滑川市シルバーワークプラザの指定管理者の指定について	産	原案可決
議案第91号	滑川市農村研修センターの指定管理者の指定について	産	原案可決
議案第92号	滑川市農村環境改善センターの指定管理者の指定について	産	原案可決
議案第93号	滑川市産業研修センターの指定管理者の指定について	産	原案可決
議案第94号	滑川市勤労身体障害者教養文化体育施設の指定管理者の指定について	産	原案可決
議案第95号	滑川市漁民センターの指定管理者の指定について	産	原案可決
議案第96号	滑川運動公園の指定管理者の指定について	産	原案可決
議案第97号	滑川市下梅沢テニスコートの指定管理者の指定について	総	原案可決
議案第98号	滑川中新川地区広域情報事務組合理約の変更について	総	原案可決
議案第99号	令和6年度滑川市一般会計補正予算(第5号)	総産	原案可決
議案第100号	令和6年度滑川市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	産	原案可決
議案第101号	令和6年度滑川市水道事業会計補正予算(第1号)	産	原案可決
議案第102号	滑川市の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	総	原案可決
議案第103号	滑川市公平委員会の委員の選任について	—	原案同意
議員提出議案第5号	ひきこもり支援体制の強化を求める意見書	—	原案可決

委員会欄は、その案件が付託された委員会を表しています。記載のない場合は、委員会に付託されていません。

※委員会…総：総務文教消防委員会、産：産業厚生建設委員会

【議会報編集委員】
高川正樹委員長
吉森真人副委員長
谷崎潤一委員
青山幸生委員
古沢利之委員
開田晃江委員
中川 勲委員

「市議会だより」について、皆さんのご意見をお寄せください。市議会の本会議は、ケーブルテレビで放送しておりますが、議場で直接、傍聴してみませんか。詳しくは、事務局までご連絡ください。
電話 47512120

議会報編集委員会から

下記のQRコードから
YouTube 滑川市議会チャンネルに
アクセスできます！

